

不屈

2024年9月
No.344号
治安維持法賠同盟島根県本部
〒693-0033
出雲市知井宮町
750-2
小玉信惠
Fax
0853-23-3829



県本部総会で活動報告をする 原屋副事務局長

八月十八日、県同盟の総会が出雲市で行われました。
・署名について・・結果十八百一筆（全国三位）来年
も最低一千筆を目指すべきか？
(討論の中で、七千筆のはずでは、と意図が出ました。
しかし近年の県同盟の論議では有権者比一%が現実的
ではとの議論論をしてきています。
あらためて現時占の島根の有権者を確認すると五十
四万人です。次回の幹事会で再度確認の議論を行いま
す。)

・中国ブロック活動交流会（五十
月十四日～十五日）について・
原屋次長で会場と打ち合わせを重ねている。
小玉事務局長と報告してますが、概略は総会で報
きます。

県同盟総会の概報



松江市安藤友紀氏提供 シモツケソウ

中国アロック活動交流集会・松江（第1回）

・日時 2024年10月14日(月)～15日(火)

・会場 島根県 松江市駿河町『むらくも館』

電話 00022-21-2670

・参加費・通し参加費15000円

(宿泊費・夕食費親会込み)

地元の方など、通しの参加が難しく会議のみの参

加費は半日料程度の負担を検討中です。(30歳以下の方は1000円)

・また対象は同郷会員以外の参加者も想定しています。

・地元の方など、宿泊だけが無く通いの方は8000円程度を検討中です。その他のケースは現場で相談させてください。

*事前や本番で十五万円近くの募金活動を行い、参加者の負担の軽減をめざす。

10月14日(月)
受付開始 11時30分～1階 瑞雲(ずいうん)の
間

受付係 奥井 萬代(よしよし)
萬代の二名

開場 12時00分「抹茶のおもてなし」(1回の
開会までの瑞雲の間での企画)
担任は井上 西村、西尾さんにお願いできなか

(予算1万円)
開会 午後1時 同会名 島根の山根里美さんと河津美知子さんに依頼できないか

・主催県より挨拶 島根県同郷会長

・スケジュール等の説明(3分) 事務局

同郷会部より挨拶 同郷中央の田中幹夫同郷副会長

・記念講演「I」 加藤ユリ氏・「わが父・金森熙隆と私の人生(仮題)」
(予定40分)

* 加藤ユリ氏の父(ひろたか氏)は京都大学医学部時に治安維持法による弾圧を受け、投獄等の苦難を乗り越え、戦後は郷里由田雲市の医院をつぎ島根の民主運動の先頭にたたれ、島根の国賠同盟の初代会長でもあつた。また加藤ユリ氏は現持法國賠同盟の会長をされていく。

立島帽子山

安達先生提供 オニユリ

・記念講演『I』

前田賢龍氏・『治安維持法と宗教』

益田市 専龍寺住職

前田住職は、毎年同盟の署名にも取り組んでいたたい
ている方です

・『新企画』一つのグループ分けにして講師の方と『ディ
スカッション』

・『討論開始』冒頭・・倉敷民商連合事件の櫛屋

(ねや)町子さんから挨拶を受ける

・各県事務局長等の一巡の発言(一人6分程度)

鳥取・岡山・広島・山口・島根の順

・討論開始 発言順序により各県より1~3名の発言

(一人6分程度)

・全員の記念写真

・午後2時討論終了

夕食交流懇親会 午後6時半~午後8時半(2階祥雲
(しょううん)の間)

交流会 日本 司会 名 鶴谷さんと永田友子さん
に依頼でないか。開場 8時30分より2階 瑞雲(ずいうん)の間

・記念講演(II)『島根原発をめぐる諸問題』

島根県議会議員 尾村利成氏

関連発言①島取代表 島取県民の島根原発のとらえ
方(仮題) (8分)

関連発言①山口代表 山口県の反原発の戦い(仮題)
(8分)

(5分休憩)

2回目の討論開始 発言順序により各県より2つ
3名の発言(一人6分程度)

・最後に来年度交流会主催の島取より発言

討論終了 11時45分

・交流会のまとめと締めの挨拶(5分)

・最後に「团结万圣バローの歌」。

・追記1・会場名は近年「サンクバローむらくも」

となっていますが、一般に元の名称の「むらくも会館」で呼称されています。

・追記2・展示企画・

・浜田の故加藤義昭氏の短歌と小玉

信恵さんの俳句の展示企画の予定。

・追記3・体制が強いとは言えない県の主催のため赤字の可能性があり、会場でのカンパのお願いも検討中です。

- ・JRで来られる方・松江駅南口出でタクシーで6分ぐらい
- ・バスでは8分ぐらい（乗り場2番、3番・・ゞくまに大回りのルートもあるので、運転手に「農民会館行きますか」と聞いてから乗車願います。）
- ・車で来られる方・・会館の後ろの道路からほの台分の会館の専用駐車場（無料）が併設されています。なお、会場の正面右側からも通路で駐車場に通じています。

総会の概報の続文

- ・農同盟の個人からの借金（二十万）の返済の一部に、千代子映画の剰余金（十万円）をあてることが確認された。
- ・組織の実力からして、総会を毎年ではなく中央組織と同じく一年に一回にしていく。中間年は拡大幹事会とする。
- ・その他・財政報告、先駆者顕彰、女性部の再建、「わが青春つづるのも」の上映運動等も議論された。

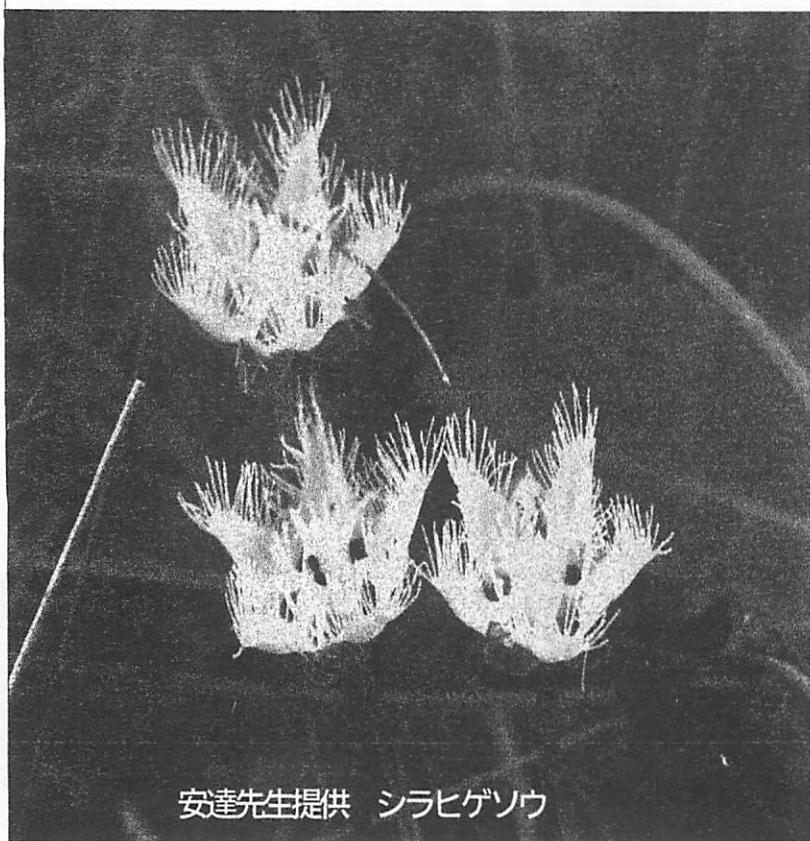
新役員体制
会食
幹事
会務局長
会務局次長
城山昇
林崎正
萬代勝美
奥井美治
秦 隆明
小玉 信惠
原屋文次

監査

大国知行 高橋秀明

顧問 佐々木忠且（体調不良により佐々木忠且氏は会食を辞し顧問となられた。）

山根里美 堀西修



安達先生提供 シラヒゲソウ